

8月11日(金・祝)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



雄弁に歌い、語る「英雄の生涯」!

8/10 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

©N. Ikegami

神 奈川フィルが音楽監督の沼尻竜典と共にミュージア川崎に登場。実に15年ぶりのサマーミュージア出演となる沼尻は、プレトークから絶好調で、軽妙な語り口と巧みなジョークの連発で笑いを誘う様子は唳家さながら。解説中にはなんと「関白宣言」を歌い(!)、自虐ネタの多い自らを「指揮者界の綾小路きみまろ」と称し、しかも20分ピッタリでトークを終えて、聴衆を大いに盛り上げたのである。

すっかり“温まった”会場で最初に響いた曲は、オネゲル『夏の牧歌』。管楽器5人と弦楽器という小編成作品で、冴え冴えとした管のソロを中心に、涼やかなサウンドでクールダウン。

そして、辻井伸行を迎えてのショスタコーヴィチ「ピアノ協奏曲第2番」。古典的な造形にユーモアの盛り込まれた作品で、オーケストラの鮮烈な演奏に乗って、辻井はピュアな美音と遊び心に満ちた好演を聴かせた。両端楽章は彼らしい力強くも正確な打鍵が発揮され、ロマンティックな緩徐楽章は至純の名演。ソリストアンコールはショパン「ノクターン第20番(遺作)」。陽気な協奏曲から一転、深く静かな響きで哀感を奏でた。

メインは R.シュトラウス「英雄の生涯」。全曲にわたり雄大で熱い演奏が無理なく実現しているのがすばらしく、かつ細かいコントロールも万全。ホルンセ

クションの絶妙な表現や、木管一人ひとりの高い表現意欲と巧さは強く印象に残る(「敵」の場面の見事な濃密さ!)。長大なヴァイオリン・ソロを務めるコンサートマスターは、大人気の“組長”こと石田泰尚。「伴侶」のソロは繊細なニュアンスにあふれて、そこに醸し出される艶も魅力的で、ひたすら聴き惚れるばかり。

それにしても、神奈川フィルは全員がよく歌い、語る。その雄弁さは、オペラを得意とし、トークも自在な沼尻のカラーが浸透している表れかもしれない。今後の彼らにも熱い期待を抱かせる「英雄の生涯」だった。

(林昌英/音楽ライター)



左から、沼尻竜典(指揮)、辻井伸行(ピアノ)、石田泰尚(首席ソロ・コンサートマスター)

ご来場者の声

沼尻さんの指揮、神奈川フィルの演奏、素晴らしかったです。石田泰尚さんのヴァイオリンの音色が澄んでいて美しかったです。辻井伸行さんの演奏は初めてでしたが、アンコールのノクターンにゾーンとききました。(60代・主婦・いねつきこまる) / かなフィルの演奏を初めて聞きました。石田組長の生音が聞けて嬉しかったです。英雄の生涯は迫力もあり切なさもあり聞き入ってしまいました。辻井さんのピアノはキラキラして素敵でした。アンコール心にしました。(40代・会社員・レオ) / フランス・ロシア・ドイツと川崎でちょっとした旅行気分を味わえました。そして沼尻マエストロのプレトーク。初めてお話を伺いましたがあんなに面白い方とは! 早めに会場入りして大発見でした。「英雄」と「関白宣言」の関係性には(多分マエストロと同世代なので) 大笑いさせていただきました。(会社員・ぜぶら) / 沼尻さんの美声に魅了され、ホルンとオーボエの旋律に夜明けの空を思い浮かべ、辻井さんの演奏に涙して、石田さんの独奏に釘付けとなりました。大満足な演奏会でした♪♪(60代・無職・Lycka)

今年もご愛読
ありがとうございました!

ほぼ日刊サマーミュージック2023は
明日8/12(土) No. 17が最終号です。

全バックナンバーは、
ホール入口前チャラック(8/27迄)
及び
Webサイトよりご覧いただけます。

LINEスタンプ
好評発売中
(全16種・税込120円)

オリジナルグッズ販売継続!

サマーミュージック期間後も
オリジナルグッズを
ホール内1F「ショップ」にて
販売いたします。

作曲家ふせん… ¥500(税込)
¥455(税抜)

クリアファイル… ¥330(税込)
¥300(税抜)



公演アンケートに回答すると
特製壁紙プレゼント!【Web限定】

Webでアンケートにご回答の方全員に
サマーミュージック特製壁紙プレゼント!
さらに、公演アンケートに書いた
あなたの感想が新聞に載るかも?
公式サイトからどうぞ。



一味も二味も違う！ 原田慶太楼のこだわりが詰まった「オペラアリア名曲選」

東京交響楽団とミュゼが贈る休日午後のコンサート・シリーズ「名曲全集」。9月2日は東京交響楽団の正指揮者・原田慶太楼が、第一線で活躍中の歌手陣とともに登場します！これまで様々なアイデアを演奏会という場でかたちにしてきたマエストロ原田が今回選んだテーマは「オペラアリア選」。しかしただオペラの名曲を並べるだけで終わるわけがありません。

モーツァルト『コジ・ファン・トゥッテ』や『フィガロの結婚』、ベッリーニの『ノルマ』、ヴェルディ『椿姫』のような超有名作品から、レオンカヴァッロ『道化師』、コルンゴルト『死の都』などの、なかなかアリアだけを聴く機会の少ない作品まで、ユニークなプログラムとなりました。ソリストは、透き通る美声と深い音楽性が各地で絶賛されている森麻季に、ドイツ・ザクセンの州立歌劇場で『蝶々夫人』に主演するなどして、国内外で高い評価を受ける森谷真理も出演。この二人による『フィガロの結婚』の「手紙の二重唱」は絶対に聴き逃せません。そして、大学在学

中からアメリカ・デビューして華々しい活躍を続ける、バリトンの大西宇宙も出演します。大西は、マエストロ原田とはアメリカで学んでいた頃からの旧知の仲だとのことで、どのような演奏になるのか、さらに楽しさが深まります。

こだわりの選曲、聴きごたえ満点のコンサートになること間違いなし。どうぞご期待ください！



指揮：原田慶太楼



ソプラノ：森 麻季



ソプラノ：森谷真理



バリトン：大西宇宙



より詳しいプログラムはこちらから



名曲全集
お得な後期セット券
好評発売中！

1回券より約20%もお得！

8/26(土)まで

◆名曲全集第190回

好評発売中！

9月2日(土) 14:00 開演

モーツァルト：『フィガロの結婚』から「手紙の二重唱」♡◇
ヴェルディ：『椿姫』から序曲、「ヴィオレッタとジェルモン」の二重唱♡★
バーンスタイン：『キャンディード』から「着飾って、きらびやかに」◇
コルンゴルト：『死の都』から「ピエロの歌」★ 他

【料金】 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 当日学生券¥1,000

※要問合せ



お刺身定食 1,580円(税込)

北信越の旬の食材と美味しいお酒

ラ チッタデッラの中にある和食のお店。席は半個室となっております。ゆったりとお食事とお喋りを楽しめます。

お店に入ると目の前にはどんと活魚水槽。メニューは北信越の旬の食材が揃います。

いただいたのはお刺身定食。イサキや能登のご当地サーモンなど、どれも本当に美味しくお腹も心も満たされました。

気になる特典はワンドリンクサービス。新潟の「スワンレイクビール」はフルーティで華やかな香り。爽快ながら飲みごたえもあります。こだわりのお料理にはその土地のお酒も合いますね。

旬の食材と美味しいお酒をいただきながら、サマーミュージアの余韻に浸ってみてはいかがでしょうか。

(経営管理課・ま)

銀座 方舟 ラ チッタデッラ

パートナーショップ特典 ※お食事ご利用のお客様に限り ※優待券持参者及び同席者

当店調酒師オススメ日本酒 or 新潟クラフトビール「スワンレイクビール」or ソフトドリンク1杯サービス

お得にグルメを楽しもう

PARTNER SHOP

サービス利用期間：本日11日(金)まで！

ご利用ありがとうございます！

日刊サマーミュージア は Webでも公開中!



フェスタサマーミュージア公式サイト <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージア #お待ちどうサマー♪ で検索 & 投稿 お待ちしております!



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

お客様に快適にコンサートをお楽しみいただくため、ご案内係はもちろん、舞台ホール受付、チケットセンター、警備設備、清掃の各スタッフも心をこめて業務にあたっております。さらにはグッズショップ、ドリンクコーナーでもその日のコンサートがより思い出深いようなプラスアルファをご提供しております。

来年のサマーミュージアでも、再びお客様にお目にかかることをスタッフ一同心より願っております。ありがとうございます！ (事業企画課・わ)

お客様に快適にコンサートをお楽しみいただくため、ご案内係はもちろん、舞台ホール受付、チケットセンター、警備設備、清掃の各スタッフも心をこめて業務にあたっております。さらにはグッズショップ、ドリンクコーナーでもその日のコンサートがより思い出深いようなプラスアルファをご提供しております。

日刊サマーミュージア Hobo Nikkan Summer Muza

ついに今年のフェスタも最終日です。長い時間をかけて準備をしてきた音楽祭が幕をおろします。

音楽祭になくてはならない存在なのがアルバイトスタッフのみなさんです。プログラムへのチラシのはさみ込みをメインに、様々な場面でサポートしてくれています。「はさみ込み」というと簡単なようですが、はさみ込みチラシの種類や枚数は公演ごとに異なり、管理するのも至難の業。皆様へミュージアの魅力的なコンサートをご紹介する大切なツールのひとつなので、おさなりので

スタッフ日誌